

郡上旬彩館 やまとの朝市



住所：岐阜県郡上市大和町剣 1 4 8

URL：https://www.instagram.com/yamato_asaichi/

アクセス：ぎふ大和 I C から国道156号・県道317号を白鳥方面へ車で3km

農産物を軸に地域を支える拠点

～郡上旬彩館 やまとの朝市～



「郡上旬彩館 やまとの朝市」は、岐阜県郡上市中部の大和地区にある直売所です。郡上市産の農産物や加工品が取り揃えられています。直売所の運営のほかに、郡上市内にある直売所間の物流や、市内の小中学校への給食の野菜の納入も行っており、地域でも重要な役割を果たしています。

今回、開設の経緯や取組内容取材しました。





郡上市の農産物がたくさん並んでいる店内



入口には、旬の農産物がピックアップされていることも。朝早く行くのがコツです

買い物もしながら一日のんびり過ごせる

東海農政局…直売所の成り立ちと運営主体について教えてください。

郡上旬彩館 やまとの朝市…当店は非常に長い歴史を持っています。昭和57年に、大和町（現在は合併し郡上市）農業振興対策センターが発足した際に農産物の直売を開始したのが始まりです。当時は毎週日曜日のみ営業しており、徐々に他の曜日にも直売を行うようになりました。

その後、地域の温泉施設のオープン（平成11年）や、今も隣接する「道の駅古今伝授の里やまと」の開業（平成13年）などに伴い、何回か販売場所を移設しました。売上が大きくなり広い店舗が必要になったことから、平成22年に現在の販売所を新設して移転し、現在に至っています。

運営は「一般社団法人郡上旬彩館」が行っています。隣接する道の駅とは

全く別の組織です。当初は組合で運営を行っていましたが、規模が大きくなり現在の建物へ移設したのをきっかけに法人を設立しました。農産物部会や加工品部会、米部会など、各出荷者で構成される部会もあります。

農政局…出荷者はどのくらいいらっしゃいますか。

やまとの朝市…現在の出荷者は約350名で、ほぼ全員が郡上市在住の者です。店内の商品もほとんどが郡上市産です。

農政局…お客様はどの地域から来られる方が多いですか。

やまとの朝市…郡上市外から来られる方が多いと思います。休日は市外の方が7〜8割くらいではないでしょうか。東海3県、特に名古屋方面の方が多い印象です。隣接する道の駅に温泉もあるので、ドライブで来て買い物にも立ち寄りながら一日のんびりする、といった過ごし方が人気なのだと思います。

郡上大和の梨が大人気

農政局…地域の野菜がたくさんありますね。どのような農産物が特徴的ですか。

やまとの朝市…季節ごとに様々な旬の農産物が出てきますが、大和町産のもので人気があるのは梨です。こちらに出荷している農家は1軒ですが、8月から11月の間にいろいろな品種が入れ替わりながら並びます。幸水、豊水、秋月（あきづき）などの品種が有名ですが、おすすめかつ最も人気なのは秋月です。甘みが強く、シャリシャリと食感が強いのが特徴です。

果実は、梨のほかに、ブドウやリンゴなども人気で、売上も大きいです。また、この地域は獣害がよく発生する地域でもあるので、獣害に強いニンニクの出荷も多くなりました。

農政局…商品の陳列や価格決めはどのように行っていますか。

やまとの朝市…どちらとも出荷者自身が自由に設定ができます。

出荷者は、価格を自分で決められるということにメリットを感じているようです。

また、陳列では品目ごとに置く場所を決めておらず、農家ごとに並ぶことが多いため、同じ品目があちらこちらにあることもあります。大規模な店舗にはない、店内を回って良いものを見つけたら楽しみのあります。

農政局…確かに、良い農産物を探しながら店内を回る楽しさを感じました！環境にやさしい農産物の生産者はいらっしゃいますか。

やまとの朝市…有機JASの認定農家は2軒、栽培中農薬不使用の農家は6軒程度把握しています。

環境にやさしい農産物は「自然栽培コーナー」を設置して、そのような農産物を求めて来店するお客様にとって分かりやすく販売しています。

ニンニクは種類もたくさん！



環境にやさしい無農薬・化学肥料不使用で栽培された野菜のコーナー



訪問日（8月上旬）には早速、早生品種の梨、「はつまる」が並んでいました！ 店内には梨カレンダー（右上）も！

リピーターも続出、郡上で一番のお米

農政局…レジのところに認定証や賞状がありますね。
 やまとの朝市…こちらは、毎年郡上市農業振興協議会が開催している「郡上おいしい米コンテスト」2024でも優秀な成績を収めたお米を作られた地域の生産者の方の賞状や、それを、当店が最も高値で落札したことを証明する認定証です。つまり、当店には、地域で最もおいしいお米を販売している、ということになります。
 当店としても、お米は果実と並ぶ、人気かつ自慢の商品でもあります。お客様からも美味しいとの声が聞かれ名古屋や北陸地方からもリピーターが来られるほどです。

農政局…店内にはポップもたくさんありますね。

やまとの朝市…ポップは生産者自身で用意することもあります。こちらのスタッフが自作しているものも多くあります。

農政局…野菜を使った料理レシピや、農産物の品種ごとの特性を図にしたポップなどは見ていて楽しいです。

やまとの朝市…スーパードではなかなか見ない野菜も出荷もあり、買い物客から調理法の質問をされることもあります。そこで、生産者の方から調理法等を聞き取って農家めしレシピという形でまとめてみました。

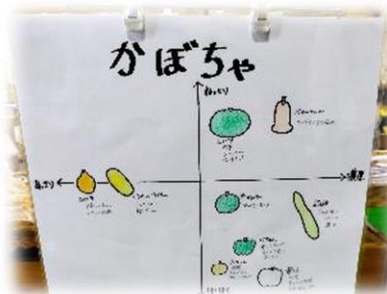
また、農産物の品種ごとの特性や食味の違いについても、お客様から質問を受けることがよくありましたので、分かりやすいようにいくつか作って各売り場に掲示しています。



様々なPOPが買い物を楽しく豊かに彩ります



農家めしレシピはレジのところにずらり！



- (↑) 地域で最も食味の良いお米を落札した証明書
- (→) 地域で最も優秀な食味のお米を作られた生産者の賞状。生産者の方からお借りしているそうです！



物流から給食まで、取組いろいろ

農政局…地域内で連携して取り組んでいることはありますか。

やまとの朝市…いろいろとありますが、まず、郡上市に所在する他の直売所の物流の役割を担っています。当店で入荷したもののうち余剰分は、別の直売所に配送したり、逆に事業者の加工品等を入荷しています。

また、高齢等の理由で直接の出荷が難しい生産者から集荷して直売所に持って帰り陳列することもあります。

その他、地域のフードバンクに農産物の寄付を行っています。当店は一日ごとの売り切り制としており、その日に売れなかった農産物は生産者にとって帰ってもらっているのですが、生産者の許可が取れた農産物は寄付をして役立ててもらっています。

農政局…小中学校などの教育機関との連携はありますか。

やまとの朝市…地域の学校給食センターへ野菜を納入する取組を平成25年から行っています。市もなるべく郡上市産を使い、地産地消を給食に取り入りたい意向があります。元々は各生産者が個別に給食センターへ納入をしていましたが、生産者の高齢化もあり難しくなってきたことから、現在は、当店がその日必要な野菜を生産者から取りまとめ、足りない品目は市場から仕入れながら、給食センターへ一括で納入を行っています。

その他には、中学校の技術科の一環で玉ねぎの栽培実習の指導を農業アドバイザーと共にしたり、農業に力を入れている郡上高校で育てられた野菜を直売所内で販売したりなど、連携を深めています。



郡上高校で作られた野菜も販売されていました！



各種取組のポスターの一部。
店内に掲示されていますので
ぜひご覧ください。



「農業アドバイザー」

郡上市では市の事業（地場農産物拡販奨励事業）にて、農家の方を支援するための「農業アドバイザー」を設置しています。

やまとの朝市でも、農業アドバイザーを、地域との連携の場で積極的に活用しており、中学校の栽培実習の指導役、各部会での栽培講習、出荷された農産物の栽培履歴の確認など、多岐にわたって活躍しています。



中学校で実施されている
玉ねぎの栽培実習（収穫）の様子

隣接市とも味覚の交流



福井県大野市の魅力が勢ぞろい。

農政局…福井県大野市の物産を扱ったコーナーがありますが、どのようなきっかけで設置されたのでしょうか。
やまとの朝市…郡上市と大野市は県境をまたいで隣接し、古くから盛んに往来や交流が続いており、最近では平成31年に議会同士で連携協定が結ばれました。その交流の一環として、当店で大野町の物産を販売し、大野町の道の駅では郡上市の物産を販売し、お互いの産品を送りあっています。
お互いに取り扱いがない物産を送ってもらうことにしており、当店では九頭竜まいたけや名産の里芋などを販売しています。郡上市からは、鶏ちゃんや牛乳などの加工品を主に出荷をしています。旬の時期には梨を出しており、人気が高いです。
これらの商品は毎週1回、物流事業の一環で当店のスタッフが大野町の現地まで行き、配送および入荷をしています。

道の駅農園野菜コーナーがありました！

農政局…加工品ではどのような商品が人気がありますか。
やまとの朝市…加工品では弁当類が人気があります。朴葉（ほおば）寿司や五目御飯、へぼ飯などが置いてあります。当法人の加工品部会に所属している出荷者が、それぞれ得意なものを作っていますが、材料は郡上市産を必ず使ってもらうようにしています。
農政局…その他にはどのような加工品がありますか。
やまとの朝市…郡上市は獣害が多く発生していますが、ハンターの方も一定数いるため、ジビエ肉やその加工品の出荷があります。
また、全国的に知名度の高い郡上鮎についても出荷する方がいます。当店は郡上漁業協同組合に公式に指定された、取扱認定店でもあります。

日本一とも呼ばれる郡上鮎



へぼ飯の原料「へぼ」は蜂の子 珍味として有名



熊肉も揃うジビエ肉



岐阜県の郷土料理 朴葉寿司



地元産だけで店内を構成する挑戦

東海農政局…直売所の裏手にあるビルハウスのような建物ですか。
やまとの朝市…「EVER GREEN MARKET」といい、苗や枝物、観葉植物を中心に販売しています。

当初は店内で販売をしていましたが、苗の徒長を防ぐほか、水やり等の作業を簡単にするため、屋外にハウスを新設しました。

東海農政局…どのようなものが売られているのでしょうか。

やまとの朝市…主に野菜の苗を中心に販売しています。苗は生産者から質の良いものを仕入れることが、地域の方だけでなく、家庭菜園をされる市外のお客様からも人気です。夏季は季節に合った花きや観葉植物の販売が中心で、余剰のスペースを活用して別の季節に向けて花きの苗を育てています。



訪問時（8月上旬）には、冬に向けた葉牡丹の苗が並んでいました。農家の方が丁寧に育て、寄せ植えの鉢として販売される予定です。



取材に御協力いただきました、本部長の大坪さん

農政局…現在の課題と今後の展望について教えてください。

やまとの朝市…郡上の地元農産物は人気があるので、生産者の高齢化や後継者不足もあり供給が追い付いていません。市場から仕入れた野菜で補う方法もありますが、来店したお客様にアンケートを取ったところ、郡上の農産物を買いたいというお客様が多かったです。そんな理由で、なるべく地元産のみで店内を構成するのを理念としています。物流による集荷をさらに積極的に活用したりすることで、地域内の解決をしたいです。

今後については、地域の休耕地を活用したフルーツ狩り園などを構想しています。現在でも、休耕地を利用した菜の花畑などを取り組んでいます。さらに地域を魅力あるものとしていき、盛り上げたいです。

農政局…ありがとうございます。
（取材日…令和7年8月6日）



販売されている観葉植物（サボテン類）



開放的なビニールハウスの「EVER GREEN MARKET」。